

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	内外化成(株) 研究開発センター 京都市	階数	地上2F
建設地	京都府相楽郡精華町光台一丁目2番	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	10 人
気候区分		年間使用時間	7,500 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年8月 予定	評価の実施日	2010年12月8日
敷地面積	19,226 m ²	作成者	原富 真也
建築面積	2,295 m ²	確認日	2010年12月10日
延床面積	2,809 m ²	確認者	寺岡 正

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 91%
③上記+②以外のオンサイト手法 91%
④上記+オフサイト手法 91%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺環境と調和した「クリーンな施設」として外観及び植栽計画を配慮し、医療関係の製造施設として衛生的で清潔感のあるイメージを持たせた。	0
Q1 室内環境 工場施設につき、外壁及び内仕切壁の遮音性能を考慮することで作業音の低減に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺のまちなみや景観に配慮した外観及び植栽計画を行った。
LR1 エネルギー 省エネ機器を採用することにより高効率化を図る	LR3 敷地外環境 ガスの利用計画が無い為、燃焼機器等の使用は無し。
Q2 サービス性能 メンテナンスがフリー又は容易に行えるよう配慮した。	
LR2 資源・マテリアル 汚染物質含有材料等は使用しないよう配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい